

Photo Gallery

まちの話題や風景を写真で紹介



秋季兵庫県高校野球大会で、西脇工業高校野球部が初の準優勝。大会では粘りの野球を見せ、近畿大会への出場を決めました。(10月8日、明石トーカ球場)



「ピンクリボン月間」や「世界糖尿病デー」の啓発活動に役立ててもらおうと、西脇ライオンズクラブが横断幕や照明器具を西脇病院に寄贈されました。(10月16日、西脇病院)



地域のボランティアの指導のもと、日野小学校5年生の34人が稲刈りと脱穀を体験。もち米を作ることになっており、7袋のもち米を収穫しました。(10月5日、日野小学校周辺)



市役所2階の郷土作家ギャラリーで西脇市美術協会「日本画部」展を開催。作品11点を展示しています。(11月30日まで、西脇市役所)

熱戦が繰り広げられるー西脇市民体育大会で

〔10月1日 西脇中学校グラウンド〕



西脇市民体育大会総合開会式で選手が力強く選手宣誓

西脇市民体育大会が開催され、陸上競技や庭球、卓球など17種の競技に総勢2,900人余りが参加し、熱戦が繰り広げられました。同大会は昭和29年から始まった市の祭典で、今年で64回目。総合開会式では、全国大会などで優秀な成績を収めた個人や団体に優秀選手賞・団体賞が贈られました。

ボランティアが市花しばざくらの花壇を整備

〔10月9日 日本へそ公園〕



5回目となる「グラス・ルーツ」に市民ボランティアら約60名が参加

市花しばざくらを育て広めようと、緑化ボランティアグループ「しばざくらフルール」が草引きイベント「グラス・ルーツ」を開催。参加した市民ボランティアらは、約150平方メートルある花壇の草引き作業をして汗を流しました。今後は雑草が生えるのを抑えるシートを張ることにしています。

「おいしい黒田庄和牛、いただきますーす！」

〔10月11日 市内幼稚園、小中学校〕



黒田庄和牛の焼肉を頬張る市立しばざくら幼稚園3歳児クラスの園児たち

10月の「ひょうご食育月間」に合わせて、学校給食で黒田庄和牛と金ゴマを使った料理を提供しました。地産地消について学び、食べ物に感謝する気持ちを養うことを目的に実施。黒田庄和牛を食べた子どもたちは「やわらかくて、おいしい」と笑顔で話し、地元食材で作られた給食を楽しみました。



(左) 浴衣を試着するレントン市中学生親善使節団の団員ら (右) 団員らは旧来住家住宅で抹茶と和菓子を味わう



西脇市の姉妹都市であるアメリカ・レントン市から中学生親善使節団が来西し、片山市長らを表敬訪問しました。団員16人は滞在した11日間、ホームステイをして過ごし、学校訪問や市内観光を通して本市の生徒たちと交流。学校では習字や剣道を体験し、旧来住家住宅では浴衣を着て抹茶や和菓子を味わうなど、さまざまな経験をを通して日本文化にふれました。レントン市は、ワシントン州シアトル市の南方約10kmに位置する人口約10万人の都市。市内には世界最大の航空機製造メーカーのボーイング社の工場があり、商業や輸送の主要都市です。西脇市と同市は、昭和44年に姉妹都市提携を締結しました。両市では中学生や市民の親善使節団を相互に派遣するなど、友好を深めています。

米・レントン市中学生親善使節団が来西

〔10月4日～14日 市内〕

消費生活相談業務に関する協定書調印式



協定書を手にする片山市長(写真左)と西村加西市長

西脇市と加西市は消費生活相談業務に関する協定を締結しました。これにより市内在住、在勤、在学する方は加西市でも消費生活相談ができるようになりました。調印式には片山市長と西村加西市長が出席。両市長は「市民交流が盛んな両市の連携は意義があり、圏域の安全・安心な暮らしに向け連携していきたい」とあいさつしました。

消費生活相談窓口がより便利に

〔9月29日 西脇市役所〕

自慢の黒田庄和牛を品評

〔9月27日 J Aみのり黒田庄ライスセンター〕

「第28回J Aみのり黒田庄和牛畜産共進会」で、黒田庄和牛の肥育成果を競いました。同会には、市内の畜産農家が手塩にかけて育てた13頭の黒田庄和牛を出品。肉付きや体の張り、体のバランスが整っているかなど、多数の基準で審査されました。最優秀賞をはじめ9頭が入賞し、「第99回兵庫県畜産共進会」(姫路市で開催)に出品されました。

まちの話題

このコーナーでは、イベントやまちの話題、団体の活動などを紹介しています。耳寄りな情報は秘書広報課まで(市役所内線207)。

紙面に載せきれないまちの話題がどんどん届きます。西脇市 facebook で情報発信中!